



令和3年度「全国学力・学習状況調査」三股町の結果について



本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象とした教科に関する調査（小学校～国語及び算数 中学校～国語及び数学）と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査です。今回の調査によって測定できることは、学校における教育活動の一部ではありますが、結果を真摯に受け止め、今後の指導に生かしていくことが大切であると考えています。

三股町教育委員会といたしましては、この結果を分析し、児童生徒の学力や生活習慣の向上に向け、取組の重点を定め、各学校の実態に応じて支援を行ってまいります。

また、児童生徒の健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が必要不可欠でありますので、今後とも各学校へのご理解とご協力をお願いいたします。



1 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の概要について

○ 実施日

令和3年5月27日（木）

○ 対象

小学校第6学年（310名）及び中学校第3学年（285名）

○ 目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○ 出題内容

（1）教科に関する調査（小学校～国語及び算数、中学校～国語及び数学）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

2 結果の表記について

各教科や児童生徒質問紙等の結果については、県や国の平均正答率をもとに以下を基準として表記しています。

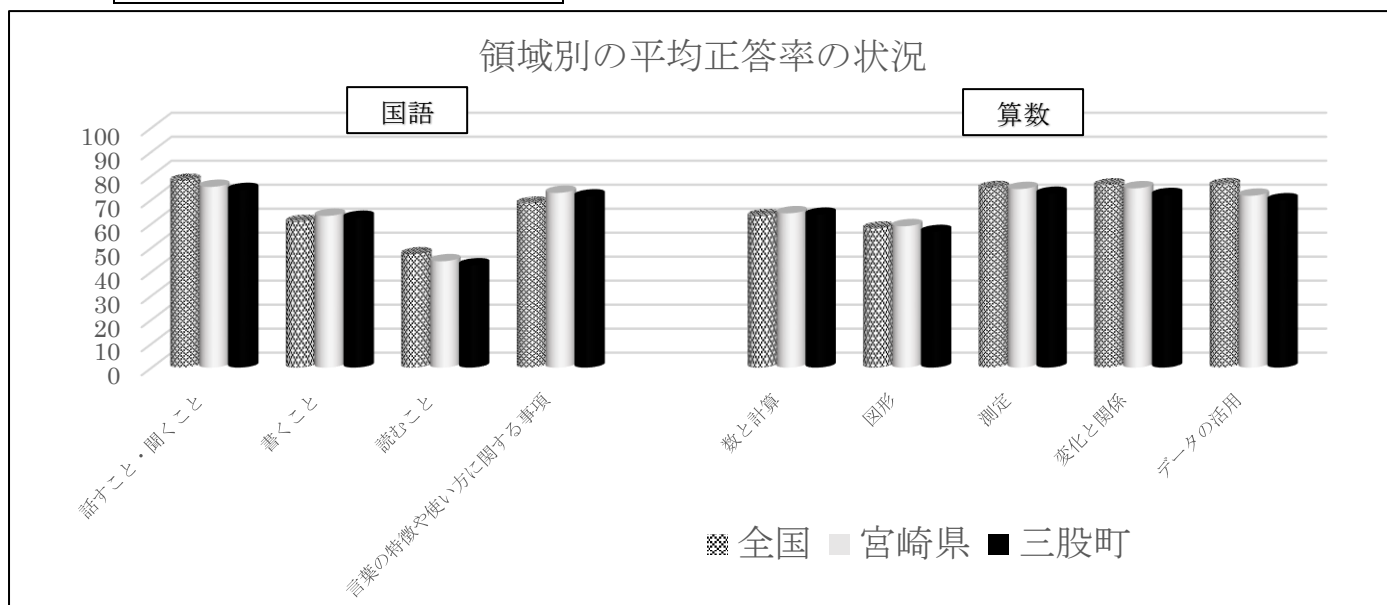
同程度	平均との差が±1未満
ほぼ同程度	平均との差が±1～3未満
やや高い（低い）	平均との差が±3～5未満
高い（低い）	平均との差が±5～7未満
相当高い（低い）	平均との差が±7以上



■ 本町の結果概要

(1) 小学校

ア 教科に関する調査の結果



■ 2教科の平均正答率は、全国及び県平均とほぼ同程度の結果です。

- 国語の正答率については、全国平均と同程度であり、県平均とほぼ同程度の結果です。
 - ・ 「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」については、全国平均よりやや低く、県平均とほぼ同程度の結果です。
 - ・ 「書くこと」については、全国平均とほぼ同程度であり、県平均と同程度の結果です。
 - ・ 「言葉の特徴や使い方」については、全国平均よりやや高く、県平均とほぼ同程度の結果です。
- 算数の正答率については、全国平均よりやや低く、県平均とほぼ同程度の結果です。
 - ・ 「数と計算」については、全国及び県平均と同程度の結果です。
 - ・ 「図形」及び「測定」については、全国及び県平均とほぼ同程度の結果です。
 - ・ 「変化と関係」については、全国平均よりやや低く、県平均とほぼ同程度の結果です。
 - ・ 「データの活用」については、全国平均より低く、県平均とほぼ同程度の結果です。

イ 児童質問紙の結果

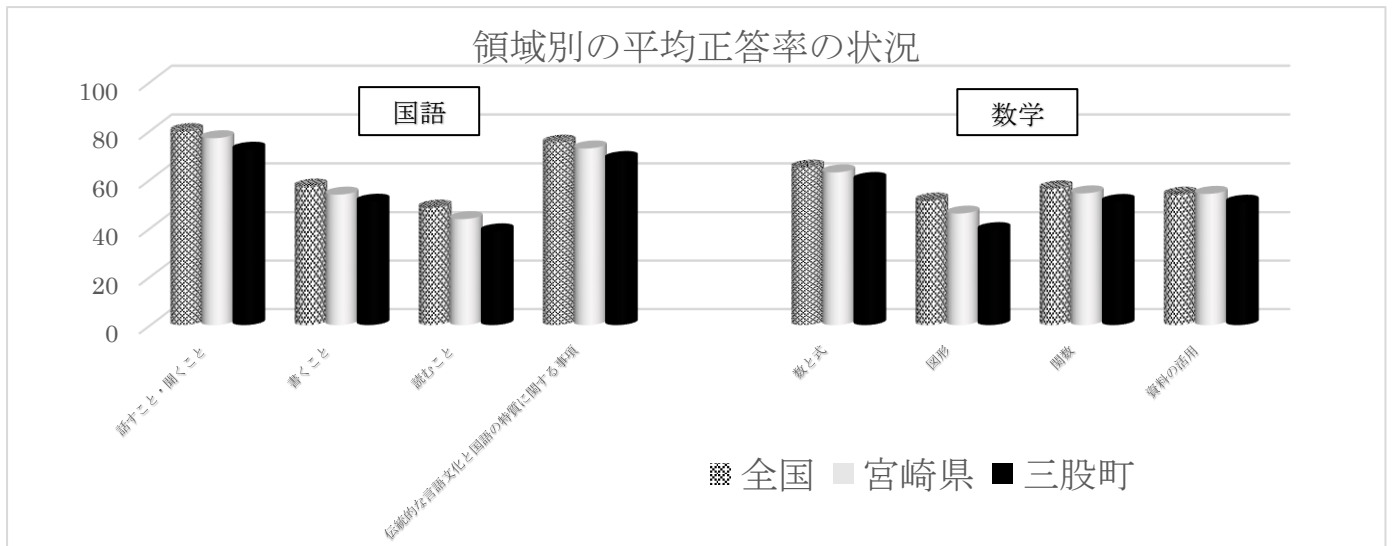
【生活習慣や学習環境等に関する主な項目】

- ・ 「決まった時刻に起床する」の項目については、全国と比較して肯定的な回答（している・どちらかといえはしている）をした児童の割合がほぼ同程度の傾向にあります。また、「朝食を毎日食べる」の項目については、全国と同程度の傾向にあります。
- ・ 「自分には、よいところがある」に対する肯定的な回答の割合は、低い傾向にあります。が、「将来の夢や目標」の項目については、全国よりやや高い傾向にあります。
- ・ 「自分の考えを言葉で表現する」の項目は、全国より相当低い傾向にあります。
- ・ 「家庭学習の時間（量）」の項目は、全国より高く、「計画を立てて勉強をしていますか」の項目は、全国と同程度です。
- ・ 「新聞を読む割合」は、全国よりやや低い傾向にあります。が、「読書の時間（量）」の項目は、全国より相当高い傾向にあります。
- ・ 「地域の行事への参加」の項目は、全国とほぼ同程度の傾向にあります。



(2) 中学校

ア 教科に関する調査の結果



■ 2教科の平均正答率は、全国平均より相当低く、県平均よりやや低い結果です。

○ 国語の正答率については、全国平均より相当低く、県平均よりやや低い結果です。

- ・ 「話すこと・聞くこと」については、全国平均より相当低く、県平均よりやや低い結果です。
- ・ 「書くこと」については、全国平均より低く、県平均とほぼ同程度の結果です。
- ・ 「読むこと」については、全国平均より相当低く、県平均より低い結果です。
- ・ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均より低く、県平均よりやや低い結果です。

○ 数学の正答率については、全国平均より低く、県平均よりやや低い結果です。

- ・ 「数と式」及び「関数」については、全国平均より低く、県平均よりやや低い結果です。
- ・ 「図形」については、全国平均より相当低く、県平均より低い結果です。
- ・ 「資料の活用」は、全国及び県平均よりやや低い結果です。

イ 生徒質問紙の結果

【生活習慣や学習環境等に関する主な項目】

- ・ 「決まった時刻に起床」の項目では、全国と比較して肯定的な回答（している・どちらかといえばしている）をした生徒の割合がほぼ同程度の傾向にあります。また、「朝食を毎日食べる」の項目については、全国と同程度の傾向にあります。
- ・ 「将来の夢や目標」に対する肯定的な回答の割合は全国とほぼ同程度の傾向にあります。
「家庭学習の時間（量）」の項目は、全国よりやや高く、「計画を立てて勉強をしていますか」の項目は、全国と同程度の傾向にあります。
- ・ 「学校に行くのは楽しい」の項目では、全国より高い傾向にあります。
- ・ 「新聞を読む割合」は、全国とほぼ同程度であり、「読書の時間（量）」の項目は、全国と同程度の傾向にあります。
- ・ 「地域の行事への参加」の項目は、全国より相当低い傾向にあります。
- ・ 「去年の4、5月（コロナ禍で臨時休校があった時期）ごろ、規則正しい生活を送る」の項目では、全国より高い傾向にあります。
- ・ 「携帯電話等の使用について、家族との約束を守る」の項目では、全国より相当低い傾向にあります。